

一般質問では、近世開拓史資料館の他に六月議会に引き続き中央公民館、読書コミュニケーションの充実について質問しました。

## 北永井拠点ゾーンの

### 核として建設を

林 まちづくり懇話会で具体的に住民の皆さんは、公民館の建設を望んでいたように思う。

第4次総合振興計画に基づき、北永井地域の拠点ゾーンの核として健康福祉の複合施設案の原点に帰り、中央公民館を建設すべきだと考える。

# ここが聞きたい！ 町政を問う

## 一般質問

建設検討委員会の設置と来年度調査費の計上についてどのように考えるか。

町長 複合の身を檢討し、担当課と協議しながら詰めていきます。

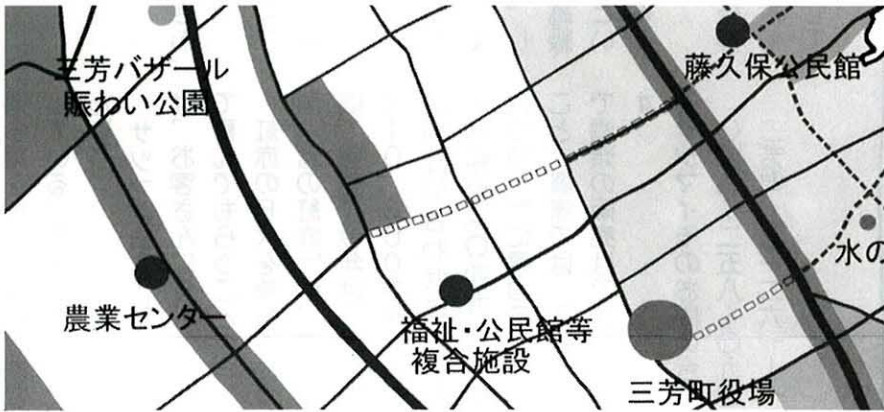
### ◆解説

中央公民館の建設は、三芳町都市計画マスタープラン、第4次総合振興計画の中で、北永井地域の地域拠点ゾーンとして、さらには三芳町のほぼ中央に位置していることから、健康福祉、生涯学習の複合施設として計画されている。

町内の人口の多くは、駅に近い東側の2割の地域に集中しているが、三芳町全体のバランスある発展と、東西の地域間格差をなくす意味でも、当初の計画通り公民館単体ではなく、複合の身を検討しながら計画を進めていくべきだと考える。

立地問題に関しては、町内循環型バスシステムの整備で解消できる。また、用地買収についても地権者のご理解が得られればまだ可能性も残っている。

いずれにせよ、民意も含んだ過去の議論の積み重ねによる構想を尊重すべきであることは言うまでもない。バランスある発展と変革の中の継続が課題であろう。



第4次総合振興計画 土地利用構想図



第4次総合振興計画  
三芳町都市計画マスタープラン

## ブックスタートの実施！

林 赤ちゃんとお母さんが絵本を通して心ふれあい、本が好きになるブックスタート。多くの市町村でも実施し、成果を上げている。財政的にも大きな負担にならず、図書館でも人的支援体制も整いつつある。機が熟したのでは是非実施を。

町長 大きな財政支出にならず、評価が高いのならば、来年度予算計上を前向きに検討していきたい。

### ◆解説

ブックスタートは、1992年、識字率の低下、子どもの活字離れが大きな社会問題となかなかイギリスで始められた制度です。

目的は、赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆつくりと心ふれあうひとときを持つきっかけをつくること。

7月31日現在全国1827市区町村のうち609団体が、埼玉県では30団体が実施しています。三芳町は読み聞かせ等図書館活動が高い評価を得ているので、基盤は整っており早い実施を望みます。